

学校支援

令和2年8月31日 NO.5

発行：北広島市学校支援地域本部
 連絡先：北広島市教育委員会社会教育課内
 TEL 372-3311(内線4847)
 Fax372-4525
 学校支援コーディネーター
 伊藤 登喜子

講話「タカシマファームとSDGs」in 大曲中学校



8月20日に、タカシマファームより、高嶋 浩一氏、高嶋 良平氏をお迎えし、講演会が行われました。今年度、大曲中学校1年生はSDGs（持続可能な開発目標）をテーマに学習を進めています。タカシマファームではSDGsという言葉が生まれる前から、北広島の地で、土を育み安心安全な作物を作ることこだわってこられました。親子二代で、生産者としての思いを、次のように語っていただきました。

(1)「田畑は後代からの預かり物として大切にする」という理念

- ・1960年代以降、化学合成農薬が普及、毒性が強くホタルが絶滅し公害の一因となる。
- ・1989年、市消費者協会から依頼され、農薬を使わない米作りを経験する。

（アイガモ農法、20ha 全面で殺虫剤、殺菌剤を使わない農法の実施）

- ・2016年、農薬に弱いホタルが半世紀ぶりに田んぼにみられるようになる。

現代の農業は少なからず環境に負荷をかけている。もみ殻をたい肥にするなど返せるエネルギーを土にかえして循環させ、バランスの取れた農業を目指している。



(2) 地域の農家として

2013年より商工会の委託で赤毛種の生産を行っており、特産物に加工されている。地域の中で、作り手と食べる人の顔が互いに浮かぶ農業を推進することが安心安全な作物を作ることにつながる。また、多くの人々が地域の歴史、文化、産業に関心を持つことが、地域の持続可能で豊かな未来を築く礎となる。

SDGsについて考える上で、多くの切り口を与えて下さるお話しでした。働くことの意義について考えた生徒もいたようで、様々な示唆に富むお話をいただきました。

空手の授業スタート!! in 広葉中学校

～礼に始まり、礼に終わる～



2年生：昨年度の基本形の復習



基本形の足運びの指導

8月25日（火）より空手道の授業が広葉中学校よりスタートしました。

今年度も北海道空手道連盟のご協力を頂き、指導者の七尾 大介氏、藤 睦氏を中心に指導補助員の方々と一緒に、市内中学校で授業が展開されます。

今年度はコロナ感染防止のため、空手道着とマットは使わずに、ジャージ姿で授業が行われています。道着のシュッと擦れる音は聞こえませんが、1年生は基本形を学び、2年生では新しく学んだ動作を基本形に組み入れて発表し合うということで、日本人の心を養い、臨む姿勢、礼、など授業を通して学んでいます。

空手道の授業の様子は随時、便りで紹介していきます。

国際交流！1、2年生の外国語指導 in 緑ヶ丘小学校



8月28日（金）に緑ヶ丘小学校の1年生で、国際交流・外国語指導の学習が行われました。

講師には、校区内で英語教室を開いている、石尾 直子 氏をお招きし、1、2年生が英語に触れる学習を毎年行っております。Hello, my name is Naoko! から始まり、1時間ずっと英語で子ども達に語り掛けていました。子ども達も自分の名前を石尾氏のまねをしてMy name～と発音出来ました。はじめは聞きなれない英語の発音に、「何を言っているかわからない!」と言っていた子ども達も、だんだんと、石尾氏の英語の世界に引き込まれ、楽しく英語に触れる時間を過ごしていました。